令和７年度和歌山県がん教育総合支援事業
がん教育動画研修会

和歌山県教育庁
学校教育局健康体育課

①がん対策基本法・がん対策推進基本計画

②本県の外部講師を活用したがん教育の状況

③学習指導要領との関連

④モデル校の取組

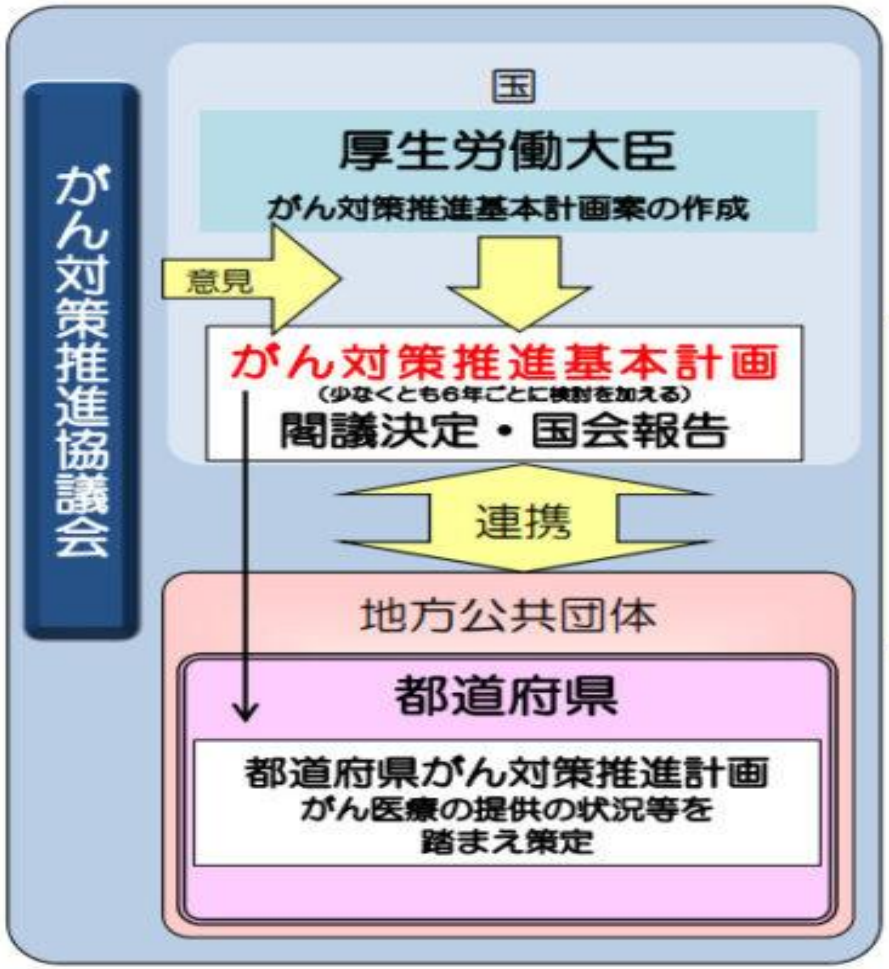
⑤がん教育に関する教材等

①がん対策基本法・がん対策推進基本計画

がん対策基本法（平成18年法律第98号）

（平成１８年６月成立、平成１９年４月施行、平成２８年１２月改正・施行）

がん対策を総合的かつ計画的に推進



基本的施策

第一節：がん予防及び早期発見の推進

- ○ がんの予防の推進
- ○ がん検診の質の向上等

第二節：がん医療の均てん化の促進等

- ○ 専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成、医療機関の整備等
- ○ がん患者の療養生活の質の維持向上
- ○ がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等

第三節：研究の推進等

- ○ がんに関する研究の促進並びに研究成果の活用
- ○ 罹患している者の少ないがん及び治癒が特に困難であるがんに係る研究の促進　　等

第四節：がん患者の就労等

- ○ がん患者の雇用の継続等
- ○ がん患者における学習と治療との両立
- ○ 民間団体の活動に対する支援

第五節：がんに関する教育の推進

- ○ 学校教育等におけるがんに関する教育の推進

国民

がん対策基本法の概要（厚生労働省より）

がん対策基本法の一部を改正する法律の概要

がんに関する教育の推進（第23条）

国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育における**がんに関する教育の推進**のために必要な施策を講ずるものとする。

第４期がん対策推進基本計画（令和５年３月28日閣議決定）概要

第１．全体目標と分野別目標　／　第２．分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標
がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

「がん医療」分野の分野別目標
適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

「がんとの共生」分野の分野別目標
がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

１．がん予防
（１）がんの１次予防
①生活習慣について
②感染症対策について
（２）がんの２次予防（がん検診）
①受診率向上対策について
②がん検診の精度管理等について
③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

２．がん医療
（１）がん医療提供体制等
①医療提供体制の均てん化・集約化について
②がんゲノム医療について
③手術療法・放射線療法・薬物療法について
④チーム医療の推進について
⑤がんのリハビリテーションについて
⑥支持療法の推進について
⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
⑧妊孕性温存療法について
（２）希少がん及び難治性がん対策
（３）小児がん及びＡＹＡ世代のがん対策
（４）高齢者のがん対策
（５）新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

３．がんとの共生
（１）相談支援及び情報提供
①相談支援について
②情報提供について
（２）社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
（３）がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
①就労支援について
②アピアランスケアについて
③がん診断後の自殺対策について
④その他の社会的な問題について
（４）ライフステージに応じた療養環境への支援
①小児・ＡＹＡ世代について
②高齢者について

４．これらを支える基盤
（１）全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
（２）人材育成の強化
（３）がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
（４）がん登録の利活用の推進
（５）患者・市民参画の推進
（６）デジタル化の推進

第３．がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

１．関係者等の連携協力の更なる強化
２．感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
３．都道府県による計画の策定
４．国民の努力
５．必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
６．目標の達成状況の把握
７．基本計画の見直し

がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

現状・課題（第４期がん対策推進基本計画より）

こどもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切である。これらをより一層効果的なものとするため、医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用し、こどもに、生活習慣や遺伝子等のがんの発生に関する基本的な情報も含めたがんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝えることが重要である。

がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

取り組むべき施策（第四期がん対策推進基本計画より）

国は、引き続き、学習指導要領に基づく、児童生徒の発達段階に応じたがん教育を推進する。その際、生活習慣が原因とならないがんもあることなど、がんに対する正しい知識が身に付くよう、医療従事者やがん患者等の外部講師の積極的な活用について周知を行うとともに、ＩＣＴの活用を推進するなど、各地域の実情に応じたがん教育の取組の充実とその成果の普及を図る。

②本県の外部講師を活用したがん教育の状況

和歌山県におけるがん教育の推進

○がんに関する教育については、学習指導要領に基づき

児童生徒の発達の段階に応じて、健康教育の一環として取り扱う。

○命の大切さや他者理解を育む教育のなかで「がん」を取り扱う。

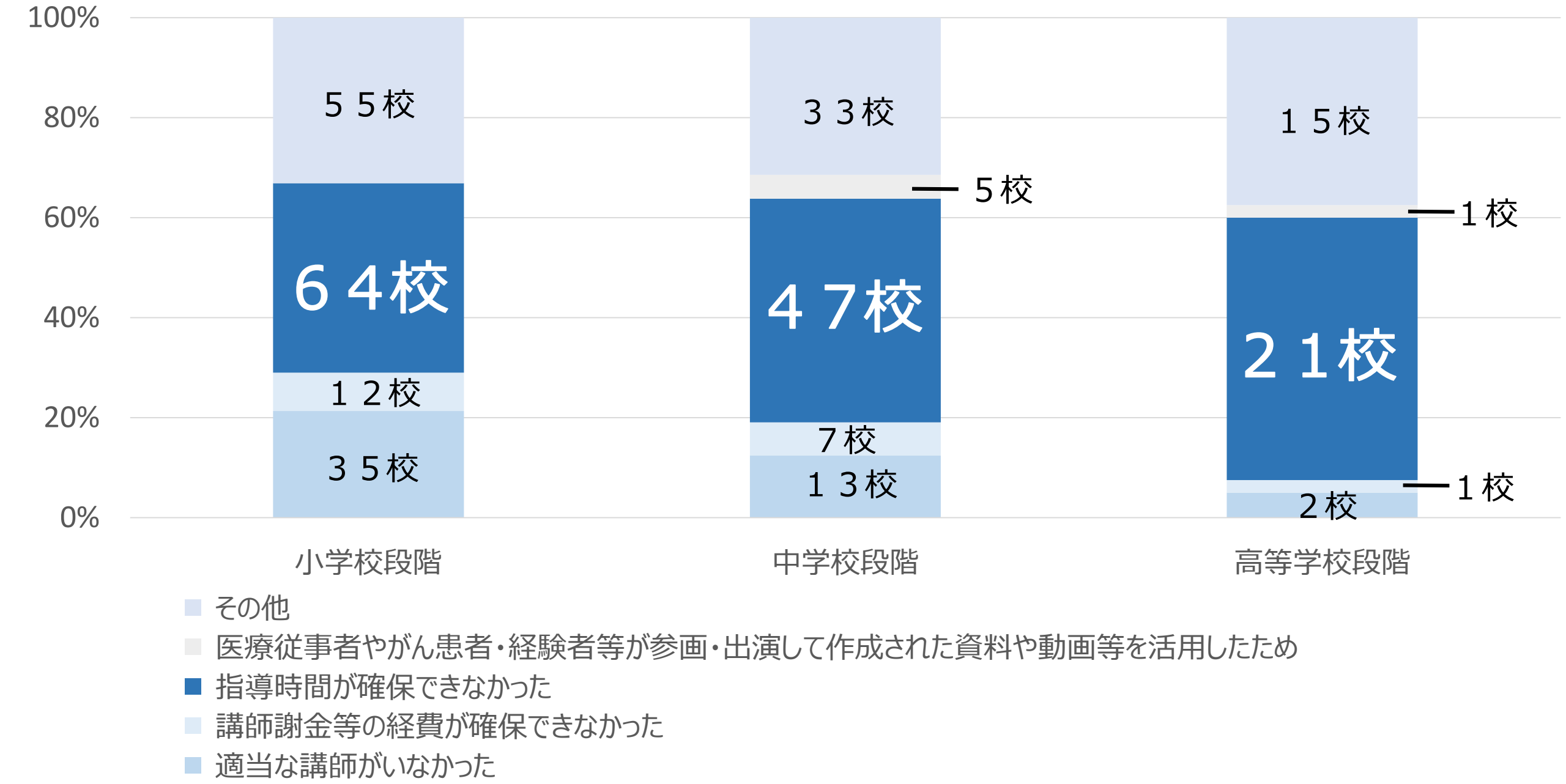
○地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医、がん患者、がん経験者など、それぞれの専門性が十分生かせるような外部講師を活用したがん教育を実施することを進める。

令和５・６年度における外部講師を活用したがん教育実施状況

	和歌山県 ※公立 （ ）の数値は令和５年度	全国平均（令和５年度） ※国立、私立、公立
小学校段階	約３７．６% （約３２．６%）	１０．６%
中学校段階	約２５．４% （１９．２%）	１６．４%
高等学校段階	約４．９% （約１２．２%）	１１．３%
全　　体	約３０．３% （約２６．４%）	１２．４%

※令和５年度は文部科学省調査、令和６年度は和歌山県教育委員会調査
※令和６年度においては、令和５年度と同じ方法で計算
※特別支援学校は、小学部・中学部・高等部をそれぞれ１校として調査
※義務教育学校は、第１学年から第６学年を小学校、第７学年から第９学年を中学校として調査

外部講師を活用しなかった理由（複数回答可）　※公立



③学習指導要領との関連

小学校・中学校・高等学校の保健の「がん」に関する内容

小学校（保健領域）

○**「健康な生活」（３年）**

○**「体の発育・発達」（４年）**

○**「心の健康」（５年）**

○**「けがの防止」（５年）**

○**「病気の予防」（６年）**

・病気の起こり方

・病原体が主な要因となって起こる病気の予防

・生活行動が主な要因となって起こる病気の予防

・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

・地域の様々な保健活動の取組

中学校（保健分野）

○**「健康な生活と疾病の予防」**（1、2、3年生）

・健康の成り立ちと疾病の発生要因

・生活習慣と健康

・生活習慣病などの予防

・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

・感染症の予防

・個人の健康を守る社会の取組

○**「心身の機能の発達と心の健康」**（1年）

○**「傷害の防止」**（２年）

○**「健康と環境」**（３年）

高等学校（科目保健）

○**「現代社会と健康」**

・健康の考え方　・現代の感染症とその予防

・生活習慣病などの予防と回復

・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

・精神疾患の予防と回復

○**「安全な社会生活」**

○**「生涯を通じる健康」**

○**「健康を支える環境づくり」**

・環境と健康

・食品と健康

・保健・医療制度及び地域の保健医療機関

・様々な保健活動や社会的対策

・健康に関する環境づくりと社会参加

※原則として、入学年次及びその次の年次の２か年にわたり履修

「保健」における「がん」に関する「知識」の内容

小中高等学校学習指導要領解説（体育編・保健体育編）より抜粋

校種	体育科・保健体育科における「がん」に関する記載（知識） ■内容の取扱い
小学校 (第６学年)	(３) 病気の予防 ア　知識　（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ㋐ 喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があること
中学校 (第２学年)	(１) 健康な生活と疾病の予防　■がんについても取り扱うものとする。 ア　知識　（ウ）生活習慣病などの予防 ㋑ がんの予防 ・がんは，異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり，その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあること ・がんの予防には，生活習慣病の予防と同様に，適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であること健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できること
高等学校 (入学年次 又は その次の年次)	(１) 現代社会と健康　■がんについても取り扱うものとする。 ア　知識　（ウ）生活習慣病などの予防と回復 ・がん，(略)などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること ・定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であること ・がんについては，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること ・がんの回復においては，手術療法，化学療法（抗がん剤など），放射線療法などの治療法があること ・患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であること ・生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であること

中学校保健体育科で取り扱う内容

・がんは，異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり，その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあること

・がんの予防には，生活習慣病の予防と同様に，適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であること健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できること

異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病	▶ がんとは何か
不適切な生活習慣をはじめ様々なものがある	▶ がんの要因
適切な生活習慣を身に付けることなどが有効	▶ がんの予防
がん検診などで早期に異常を発見できる	▶ がん検診

高等学校保健体育科で取り扱う内容

・がん，(略)などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること
・定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であること
・がんについては，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること
・がんの回復においては，手術療法，化学療法（抗がん剤など），放射線療法などの治療法があること
・患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であること
・生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であること

適切な運動,食事,休養及び睡眠など,調和のとれた健康的な生活を続ける	▶ がんの予防
・がん検診などを受診することが必要・がん検診の普及など社会的な対策が必要	▶ がん検診
肺がん,大腸がん,胃がんなど様々な種類	▶ がんの種類
生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること	▶ がんの要因
手術療法,化学療法（抗がん剤など）,放射線療法などの治療法があること	▶ がんの治療法
患者や周囲の人々の生活の質を保つこと	▶ 生活の質
緩　和　ケ　ア　が　重　要	▶ 緩和ケア

「保健」における「思考力、判断力、表現力等」に関する記載内容

小中高等学校学習指導要領解説（体育編・保健体育編）より抜粋

校種	体育科・保健体育科における「思考力、判断力、表現力等」に関する記載
小学校 (第６学年)	**(３) 病気の予防** **イ　思考力、判断力、表現力等** 病気の予防に関わる事象から**課題を見付け**，病気を予防する視点から**解決の方法を考え**，**適切な方法を選び**，それらを**説明する**ことができるようにする。
中学校 (第２学年)	**(１) 健康な生活と疾病の予防** **イ　思考力、判断力、表現力等** 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から**課題を発見し**，疾病等のリスクを軽減したり，生活の質を高めたりすることなどと関連付けて**解決方法を考え**，**適切な方法を選択し**，それらを**伝え合う**ことができるようにする。
高等学校 (入学年次又はその次の年次)	**(１) 現代社会と健康** **イ　思考力、判断力、表現力等** 現代社会と健康に関わる事象や情報から**課題を発見し**，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，**解決方法を関連付けて考え**，**適切な方法を選択し**，それらを**説明すること**ができるようにする。

小・中・高等学校学習指導要領解説　特別活動編　(小P47・中P45・高P51)

校種	内　容
小学校	第３章　各活動・学校行事の目標及び内容　第１節　学級活動　２　学級活動の内容 （２）　日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ　心身ともに健康で安全な生活態度の形成 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進すること。
中学校	第３章　各活動・学校行事の目標と内容　第１節　学級活動　２　学級活動の内容 （２）　日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 エ　心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進すること。
高等学校	第３章　各活動・学校行事の目標と内容　第１節　ホームルーム活動　２　ホームルーム活動の内容 （２）　日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 オ　生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進すること。

体育科，家庭科はもとより，各教科，総合的な学習の時間等とも関連を図りながら指導することが大切
（小学校学習指導要領解説　特別活動編Ｐ５６）

学校教育活動全体で行う「がん教育」（中学校の例）

保健体育科

・「生活習慣病の予防」㋑がんの予防

・「健康を守る社会の取組」

関連付けた指導例

・道徳・・・・・・・・・・・・・・・・・ 生命の尊さ・節度、節制

・特別活動・・・・・・・・・・・・ 心身の健全な発達や健康の保持増進

・総合的な学習の時間・・・ 健康などの現代的な諸課題

・ＰＴＡ主催の講演会・・・「がん」に関すること

・学校保健委員会・・・・・・・「がん教育」をテーマに

▶ 家庭・地域との連携

④モデル校の取組

モデル校での授業展開例

小学校の例

事前学習の復習【担任】 → 外部講師のお話【がん専門医】【がん患者・経験者】 → グループワーク等【担任・外部講師】 → 発表・まとめ【担任】

グループワーク等のテーマ（参考）

・大切な人が「がん」になったとき、自分たちにできることは何か考えよう。

中学校・高等学校の例

事前学習の復習【担任】 → 外部講師のお話【がん専門医】【がん患者・経験者】 → グループワーク等【担任・外部講師】 → 発表・まとめ【担任】

グループワーク等のテーマ（参考）

・がんを予防するために、今からできることを考えよう。

・大切な人ががんにり患しないために、メッセージを考えよう。

外部講師との打合せシート

がん教育事前打合せシート

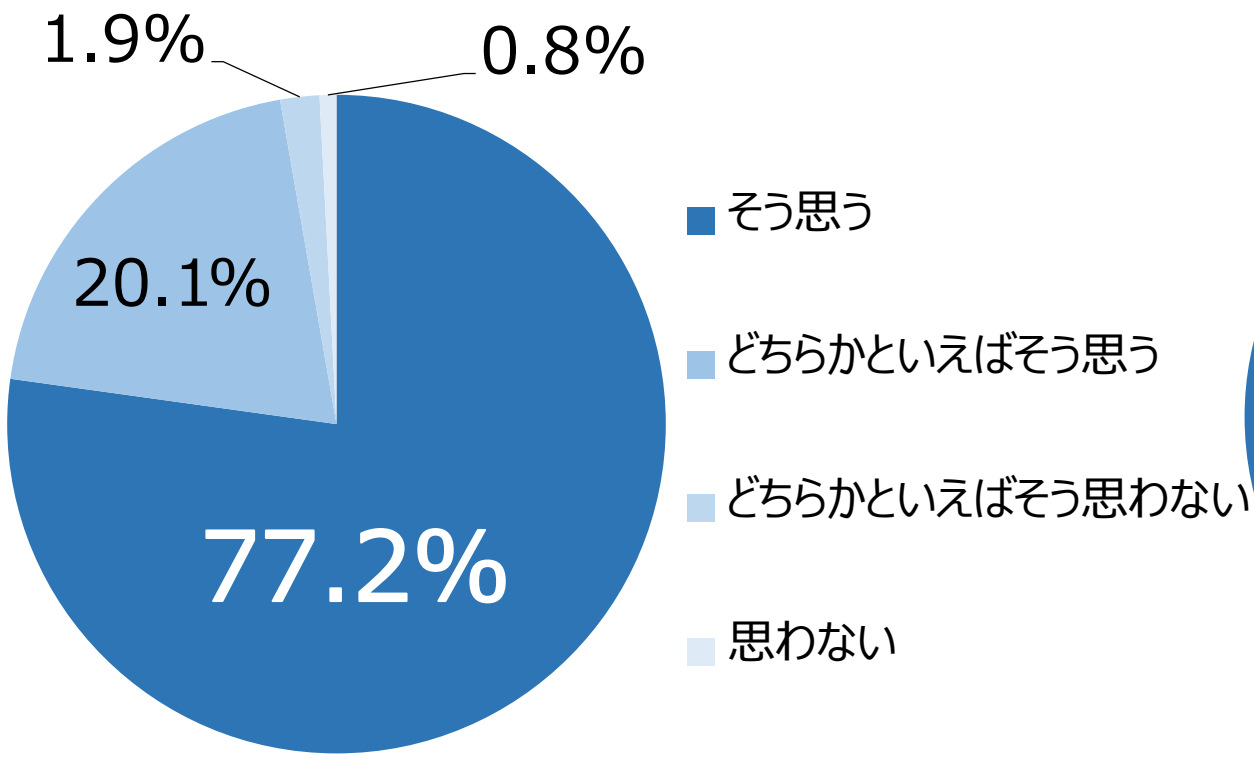
学校名（　　）

日時	令和　　年　　月　　日（　）　　～ 月　　日（　）　　～ 月　　日（　）　　～
場所	
対象学年	【小学校】 □　５年生（　　）人 □　６年生（　　）人 □　その他（　　） 【中学校・高等学校】 □　１年生（　　）人 □　２年生（　　）人 □　３年生（　　）人
授業のねらい	（ねらい）
授業の形式	講義（　　）分　＋　グループワーク（　　）分 ※　外部講師と教諭によるティーム・ティーチング
アンケート実施日	事前：令和　　年　　月　　日（　） 事後：令和　　年　　月　　日（　）
講義内容	□　がんとは（がんの要因等） □　がんの種類とその経過 □　日本におけるがんの状況 □　がんの予防 □　がんの早期発見・がん検診 □　がんの治療法 □　がん治療における緩和ケア □　がん患者の「生活の質」 □　がん患者への理解と共生 □　その他 （　　）
グループワーク内容	グループ構成：（　　）人　×　（　　）グループ テーマ： 進め方：

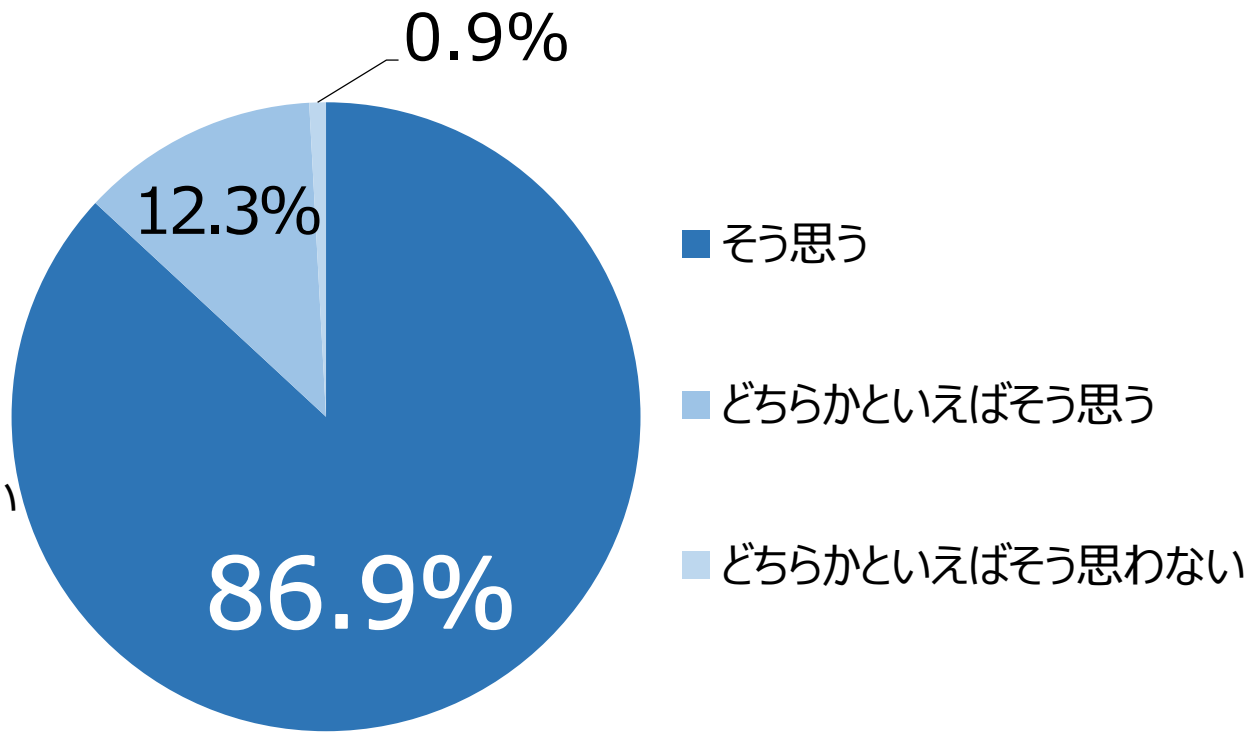
配慮事項	□　小児がんの当事者や小児がんにかかったことのある児童生徒がいる。 □　家族にがん患者がいる児童生徒や家族をがんで亡くした生徒がいる。 □　生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる。 □　がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒がいる。 □　その他 （　　）
授業後のふり返り	□　有り　※モデル校には原則お願いしています。 □　無し
保護者への周知方法	
使用機器について	パソコン □　持参する（Windows、Mac、その他（　　）） □　持参しない プロジェクター、スクリーン □　使用する □　使用しない
学校からの希望	
外部講師からの質問	※　打合せ時に確認
その他	

モデル校児童生徒アンケート

がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ



実施前

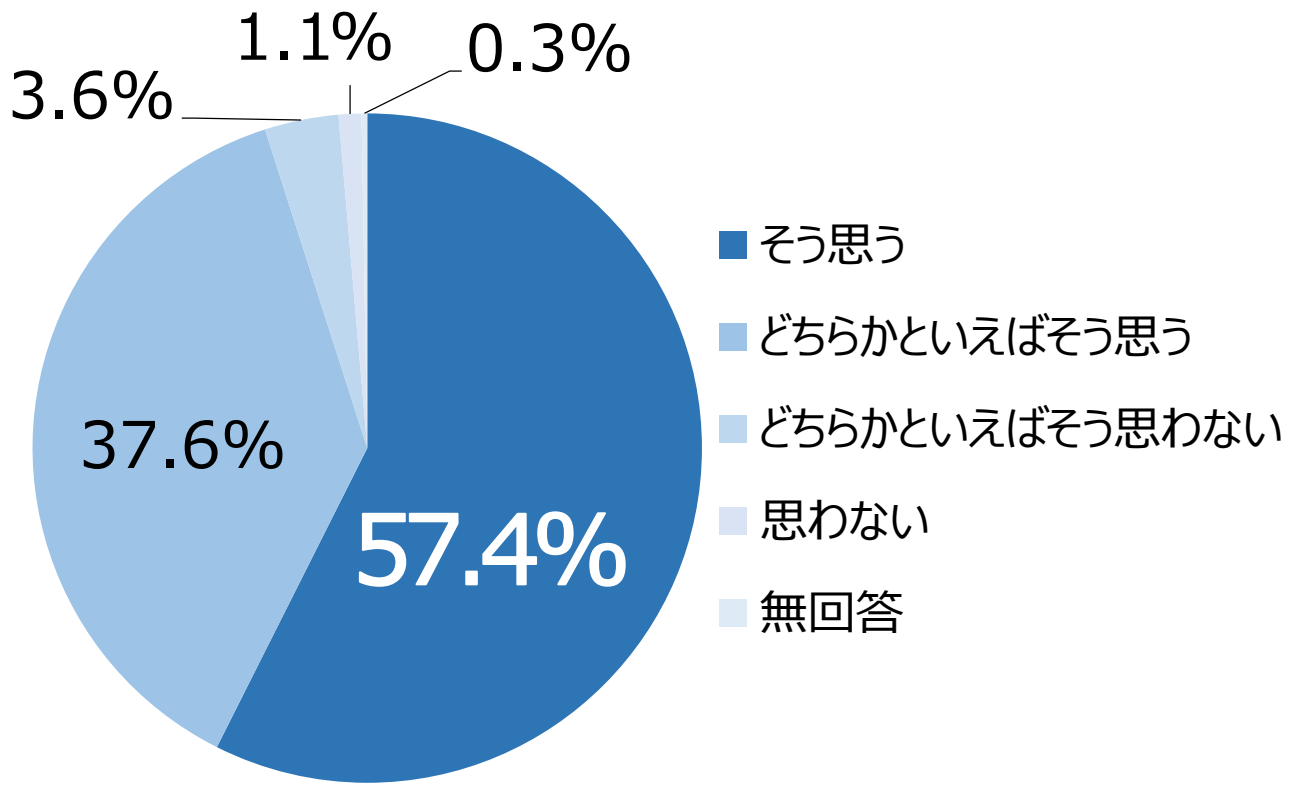


実施後

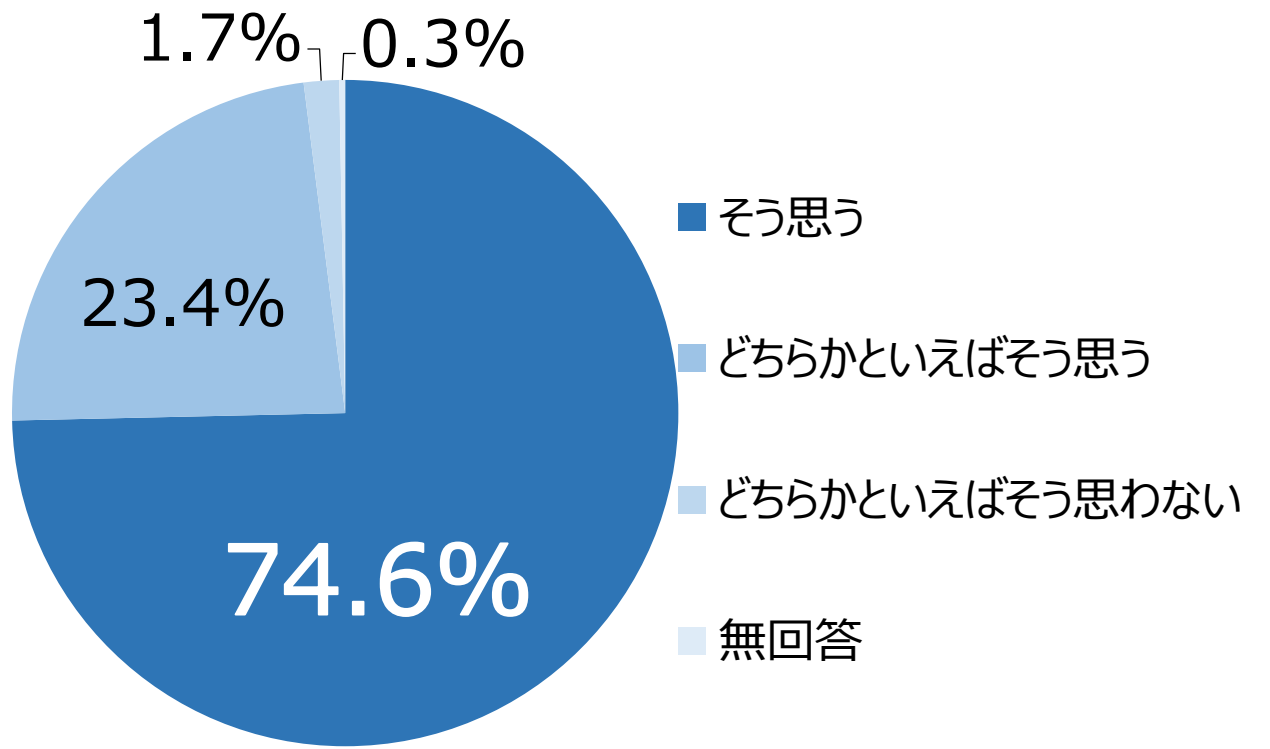
※小数第二位で四捨五入しているため100%ではありません。

モデル校児童生徒アンケート

日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う



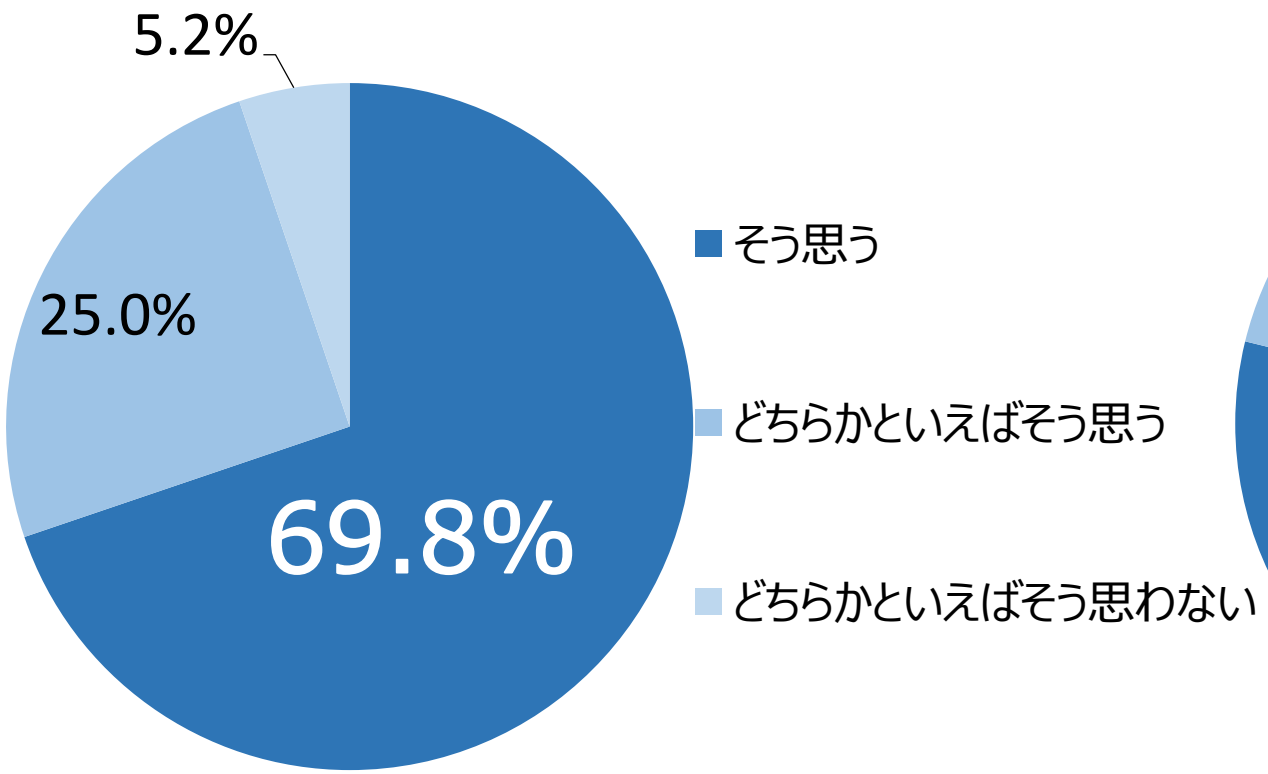
実施前



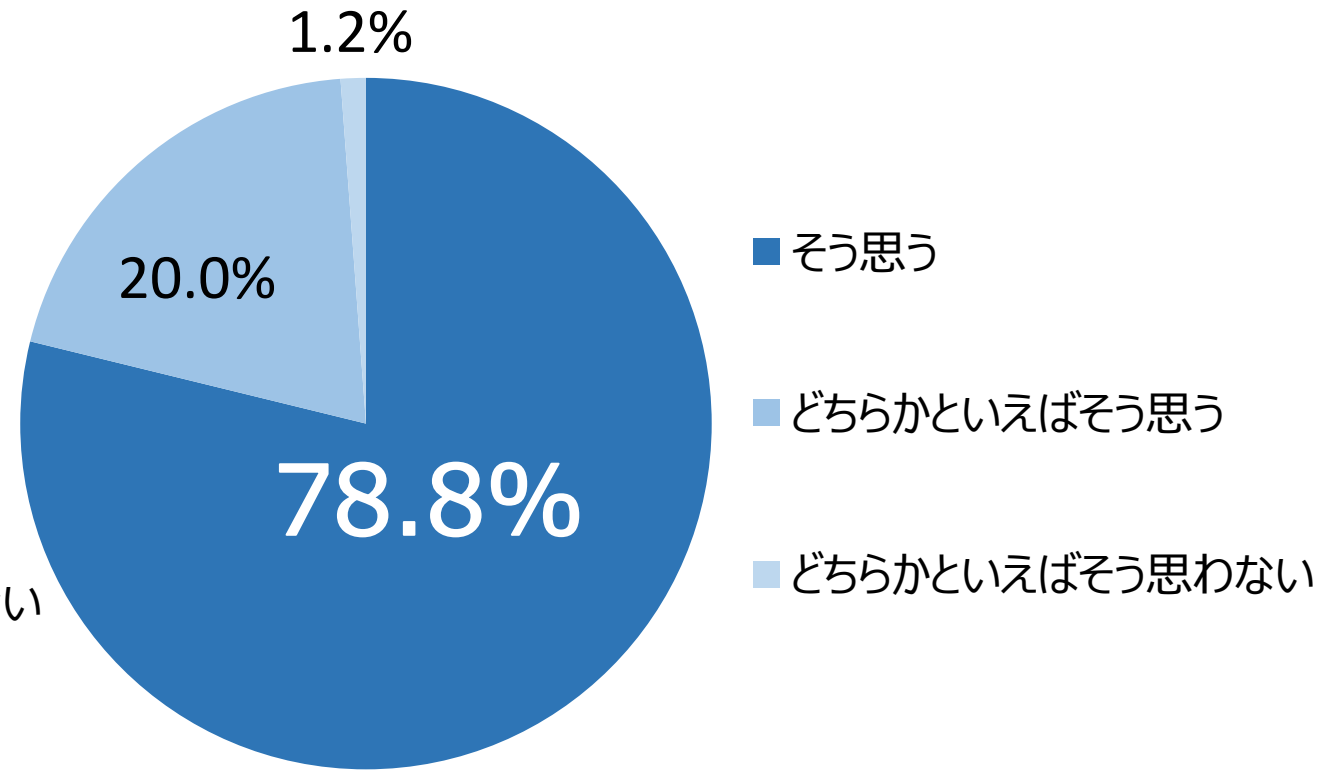
実施後

モデル校児童生徒アンケート

がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい



実施前



実施後

モデル校児童生徒感想

- がん患者が暮らしやすい社会を築くには、誰もが**がんについて正しく理解**し、その人の気持ちを考えて**寄り添うことが大切**だということを学んだ。
- 「がん」はだれにでもなってしまう病気であるが、それを予防していくことが大事で、もし「がん」になったとき**「がん」とどう向き合っていくか**、そして、**「がん」についての正しい知識**をもつことが必要である。
- たばこやお酒もがんにつながると聞いて、**親にも控えるように**言わないといけないなと感じました。
- 身近な人に、お酒をたくさん飲む人と、生活習慣が乱れている人がいるので今日**習ったことを伝えてみよう**と思いました。
- 将来**がん検診を受けよう**と思う。また、**家族**にも今日の授業のことを伝え、**がん検診を受けてもらいたい**と思った。

⑤がん教育に関する教材等

学校におけるがん教育の在り方について報告　（平成27年３月）

学校におけるがん教育の在り方について

報告

平成 27 年 3 月

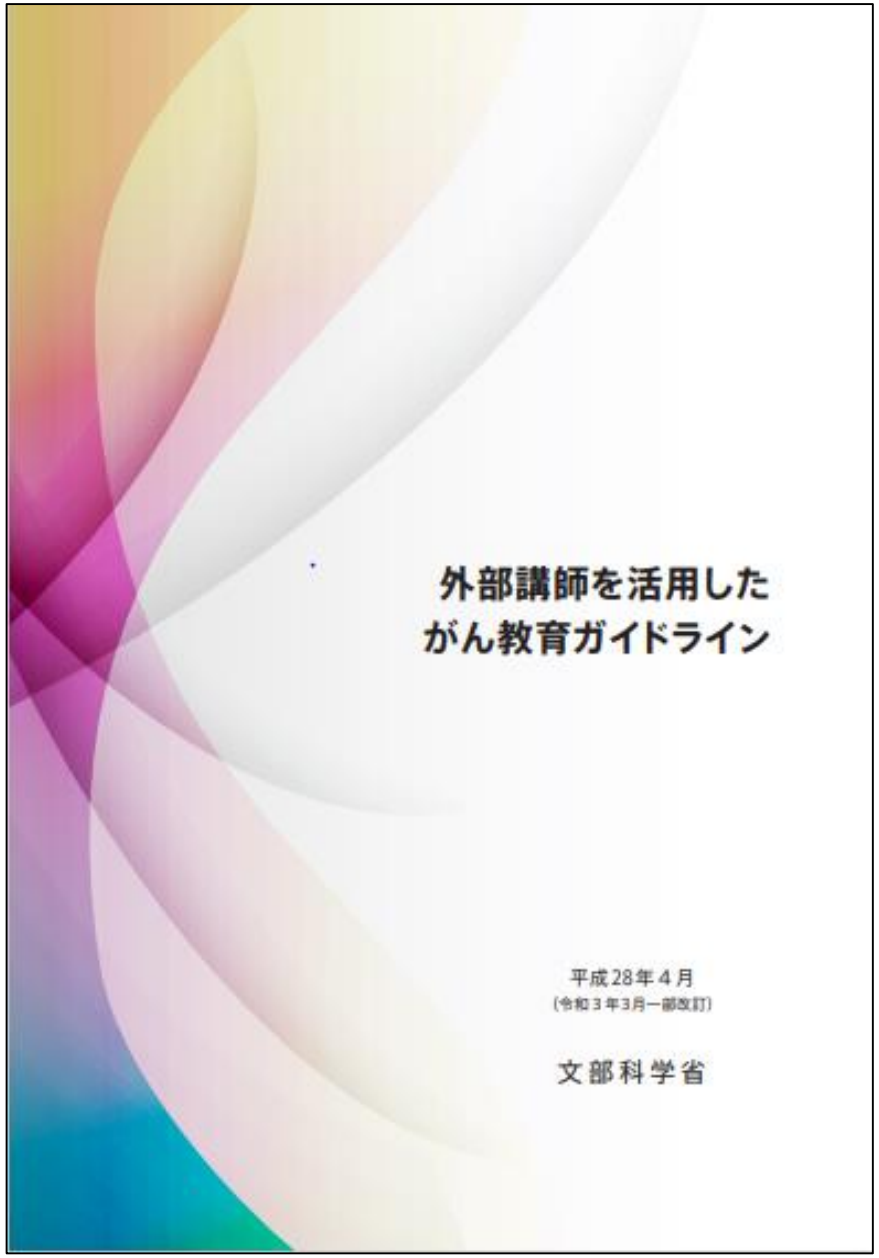
「がん教育」の在り方に関する検討会

学校におけるがん教育の在り方について報告　概要

学校におけるがん教育の基本的な考え方

がん教育の定義	がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。
がん教育の目標	①がんについて正しく理解することができるようにする。 ②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。
がん教育の 具体的な内容	ア　がんとは（がんの要因等）　イ　がんの種類とその経過 ウ　我が国のがんの状況　エ　がんの予防　オ　がんの早期発見・がん検診 カ　がんの治療法　キ　がん治療における緩和ケア ク　がん患者の生活の質　ケ　がん患者への理解と共生
留意点	①学校教育活動全体での推進　②発達の段階を踏まえた指導 ③外部講師の参加・協力など関係諸機関との連携 ④がん教育で配慮が必要な事項

外部講師を活用したがん教育ガイドライン　（令和３年３月一部改訂）



第１章　外部講師を活用したがん教育の必要性

１　がん教育の背景

２　がん教育の位置付け

３　普及啓発への教育委員会の役割

第２章　外部講師を活用したがん教育の進め方

１　がん教育の進め方の基本方針

２　がん教育実施上の手順（例）

３　がん教育実施上の留意点

（１）実施形態

（２）外部講師

（３）配慮が必要な事項

４　依頼された外部講師のために

（１）授業等へ参画する上での留意点

（２）外部講師を活用したがん教育において配慮が必要な情報

（３）その他

【参考資料】

外部講師を活用したがん教育を進める際のポイント

○ 学校が主体となって健康教育の一環として企画し、運営を行う。

○ 保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行う。

○ 全ての教職員の共通理解のもとに進める。

○ 学校での取組内容を保護者などに周知・共有することにより、連携体制を構築する。

○ 年度当初の職員会議等で、「学校保健計画」に基づき外部講師を活用したがん教育の開催予定を周知するなど、情報を共有する。

○ 発達段階を踏まえた指導を行う。

・小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。

・中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。

外部講師を活用したがん教育ガイドラインより（令和３年３月一部改訂）

がん教育を実施する際の配慮が必要な事項例

○　小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合

○　家族にがん患者がいる児童生徒や、家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合

○　生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる場合

○　がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり、家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合

がん教育実施上の配慮の例

○　家族にがん患者がいる児童が在籍しているので、その児童に対して、つらくなったら退出してもよい旨の事前指導を行い、授業前も同様の声掛けを行った。

○　小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童がいるので、事前に保護者や本人に了解を得た上でがん教育を行った。※保護者や本人に学習内容等を説明した上で、保護者や本人の意向を尊重した対応を行う。

○　事前に学年だよりで授業の内容を保護者に知らせ、授業に関する質問の有無を尋ねた。

○　別室でオンラインを活用し、授業を受けられることを伝えた。

・具体的な配慮の方法については、児童生徒の状況を最もよく把握している教職員（学校）が、学校全体の共通理解のもと、個別の状況に応じて検討を行う。

・外部講師にも必要な情報を共有し、連携を図ることが大切。

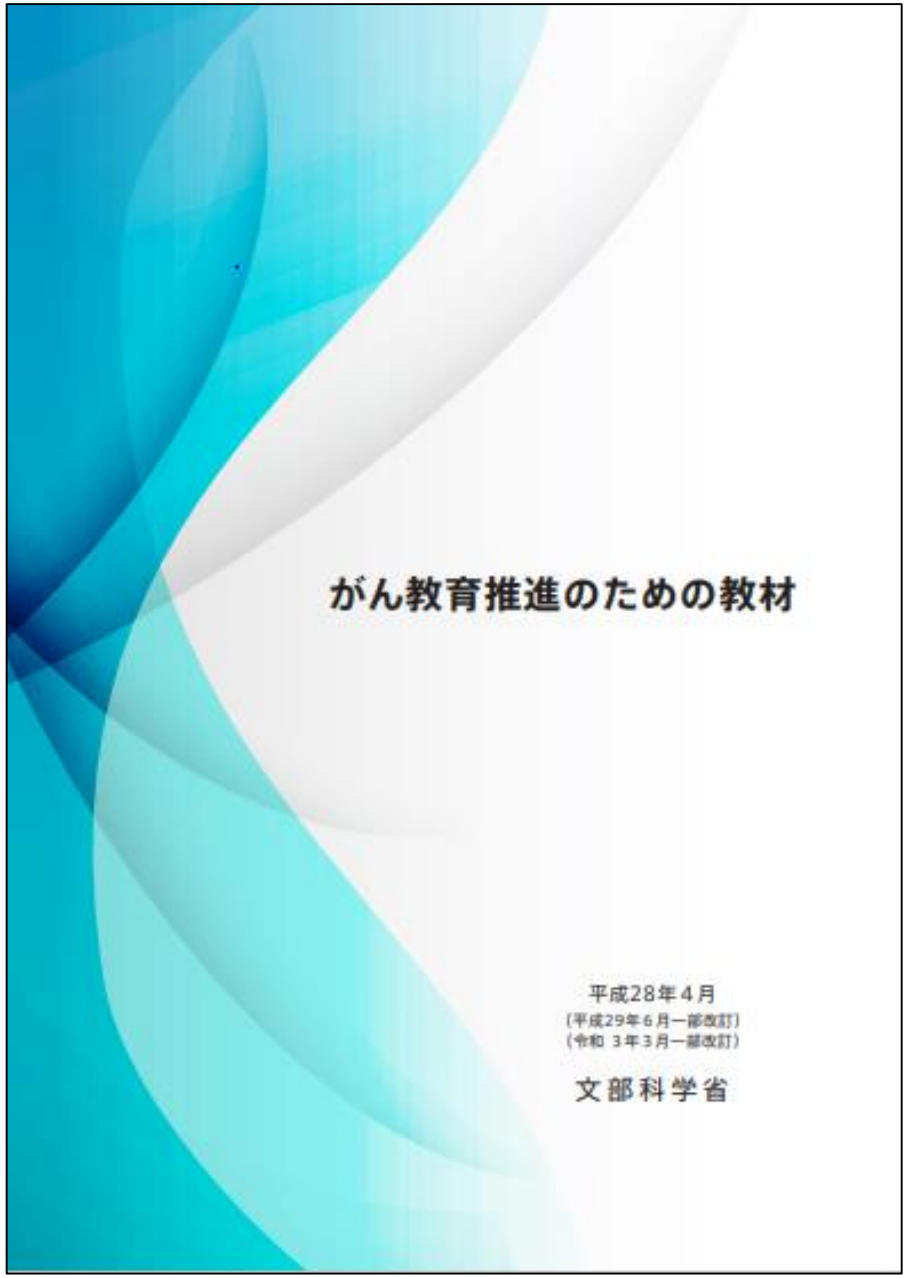
外部講師を活用したがん教育実施上の手順（例）

	企　　画	打　合　せ	準備・事前指導
学校内	保健主事、授業を担当する保健体育教諭、学級担任等を中心に核となる教員を決め、関係教職員と連携しつつ、外部講師を活用したがん教育を企画する。 ・どんなテーマで ・いつ ・だれを講師に	外部講師を活用したがん教育の実施に向けて、教職員の共通理解を図り、実施内容等について話し合う。また、教科書やがん教育に関わるビデオ、パンフレット等の資料を準備し、外部講師を活用したがん教育の講師予定者との打合せに備える。	当日児童生徒に配布する資料や使用する視聴覚機材を準備する。 必要な場合には事前学習・事前指導等を行う。
関係者との調整	外部講師を活用したがん教育の企画に合わせて、関係機関に講師の派遣を依頼する。 ・事前打診 ・正式依頼状送付 ・打合せ日程調整	外部講師を活用したがん教育の講師予定者と当日の指導内容や指導方法について打合せを行う。 ・詳細な日程 ・講師と学校の役割分担 ・準備品等 ・指導上の留意事項の確認	資料や視聴覚教材についての最終確認を行う。 講師と教員との役割分担についても確認する。

外部講師を活用したがん教育実施上の手順（例）

	授業当日	事後指導	評価・まとめ
学校内	本時におけるがん教育の目的・ねらいの説明、講師の紹介等を行う。 外部講師を活用したがん教育を実施する。	学校の実情に応じて、各教科等の学習内容と関連付けた指導を行う。 児童生徒と外部講師との質疑応答の機会を設けるとともに、振り返りの時間を確保する。	成果や課題について担当者で話し合い、次年度の外部講師を活用したがん教育に生かす。 また、この結果は全ての教職員で共有する。
外部講師との調整	講師との最終確認を行い、がん教育を実施する。	外部講師に授業実施後の感想などを尋ねるとともに児童生徒からの質問や感想などを提供し、指導上の課題や児童生徒の実施後の指導などについて話し合う。	講師及び講師の所属先に礼状を出す。

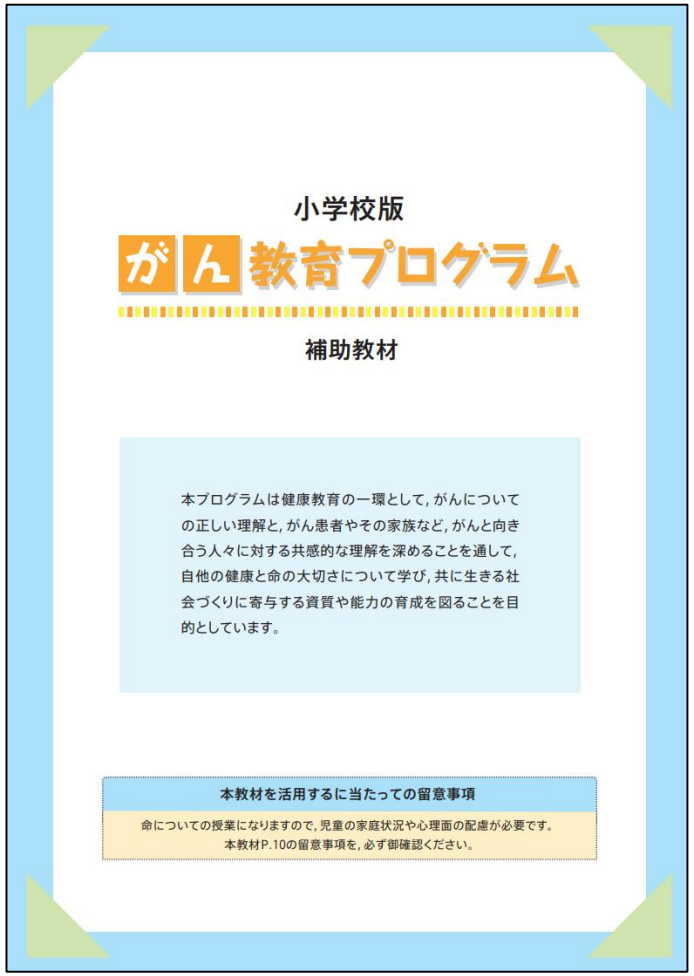
がん教育推進のための教材　（令和３年３月一部改訂）

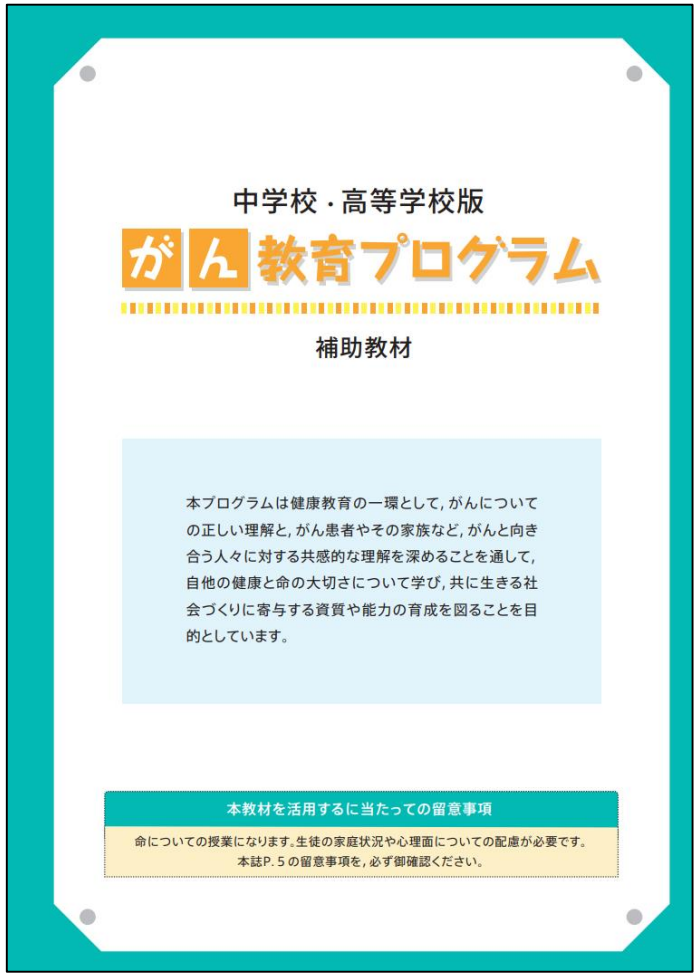


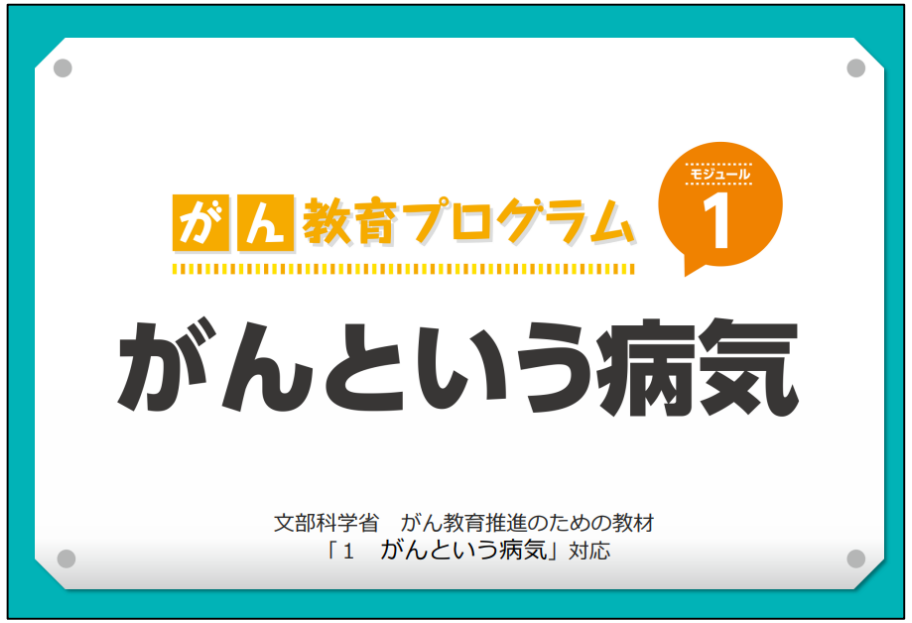
【目　次】

1 がんという病気 …… 2
2 我が国におけるがんの現状 …… 3
3 がんの経過と様々ながんの種類 …… 4
4 がんの予防 …… 6
5 がんの早期発見とがん検診 …… 8
6 がんの治療法 …… 10
7 がんの治療における緩和ケア …… 12
8 がん患者の「生活の質」 …… 13
9 がん患者への理解と共生 …… 14
○ 小学生用教材案 …… 17

外部講師を活用したがん教育参考資料　（文部科学省ＨＰ）







文部科学省　がん教育に関するＨＰ

〇教材・参考資料等

〇研修会・シンポジウムに関すること

〇がん教育実施状況調査

〇がん教育等外部講師連携支援事業

〇がん教育総合支援事業

（全国の自治体の取組が紹介されています。）

〇その他（がん教育　共有サイト）

和歌山県教育委員会　がん教育に関するＨＰ

健康体育課(073-441-3694)

新着情報

2025年4月1日 令和7年度より健康体育課を設置しました

学校給食

- 紀州っ子のこころとからだをつくる食育の手引
- 平成30年度和歌山県食育推進月間の取組結果
- 紀州っ子のこころとからだをつくるスポーツ栄養レシピ

学校体育

- 学校体育
- 部活動の地域連携・地域移行

健康教育

- 外部講師を活用したがん教育について
- 性に関する指導について
- 児童生徒の体位疾病調査結果
- 学校におけるアレルギー疾患対応指針

依存症予防教育

- ストップ!スマホ・ゲーム依存「家庭でルールをつくりましょう!」
- 「ストップ!スマホゲーム依存」啓発動画及び動画教材
- 啓発資料「生活をふり返ろう!」及び学習資料集「ストップ!スマホ・ゲーム依存」
- スマホ・ゲーム依存に係る自己チェックリスト
- 学習用リーフレット「依存症にならないために」

外部講師を活用したがん教育について

外部講師を活用する際の様式（参考）

がん教育講師依頼文様式（参考）　Word版
がん教育講師依頼文様式（参考）　PDF版
がん教育保護者授業案内文様式（参考）　Word版
がん教育保護者授業案内文様式（参考）　PDF版

がん教育事前打合せシート（参考）

がん教育事前打合せシート（参考）　Word版
がん教育事前打合せシート（参考）　PDF版

がんに関するクイズ教材（小学校向け）

がんに関するクイズ教材　パワーポイント版
がんに関するクイズ教材　PDF版

関連リンク先

文部科学省　がん教育
和歌山県　健康推進課　がん・疾病対策班

保健教育における個別指導の考え方、進め方　（公益財団法人日本学校保健会）

第1章　学習指導要領に基づく保健教育 …… 1

1 ▸ 保健教育の考え方 …… 1
（1）保健教育の意義 …… 1
（2）保健教育のねらい …… 2
（3）保健教育の体系 …… 4
（4）「令和の日本型学校教育」の趣旨を踏まえた保健教育の推進 …… 4

2 ▸ 保健教育における個別指導 …… 6

3 ▸ 個別指導の実施に当たって …… 6

第2章　具体的な健康課題に対応した個別指導例 …… 7

1 ▸ 性について …… 7
指導例 1　月経に伴う心身の不調を知り，周囲の人ができる支援や配慮を考える …… 7
指導例 2　妊娠・出産について考える …… 15
指導例 3　「性感染症」の予防について考える …… 18

2 ▸ がんについて …… 24
指導例　がんについて理解を深める …… 24

3 ▸ 薬物乱用（大麻）について …… 30
指導例　薬物乱用（大麻）の防止と対処について考える …… 30

4 ▸ 心の健康について …… 36
指導例　精神疾患の予防と対処について考える …… 36

5 ▸ 防災について …… 42
指導例　豪雨災害に備え，命を守るためのマイ・タイムラインを作る …… 42

保健教育における個別指導の考え方、進め方　（公益財団法人日本学校保健会）

3 対象生徒

・がんに関する内容について，本人ががんの当事者，がん患者であった，家族にがん患者がいる，家族をがんで亡くした，生活習慣とは関係のないがん患者が身近にいるといった個別の事情があり，十分な理解が得られない，あるいは情意面での不安を残す生徒
・がんについてより学ぶ意思や意欲の高い生徒

4 主な指導者

保健体育科教諭，養護教諭，外部講師など

5 指導時間（時間帯），実施場所

20～30分程度（昼休み，放課後など），保健室，空き教室等

6 準備物

資料：文部科学省『中学校・高等学校版がん教育プログラム補助教材』
https://www.mext.go.jp/content/20210310-mxt_kenshoku-100000621_2.pdf
パソコン・タブレット

7 個別指導の流れ

① 事前準備

・個別指導のねらい，日時や場所等を設定し，実施要領（案）を作成する。
・実施要領や関係資料等を示し，管理職の了承を得るとともに，教職員の共通理解を図り，関係者の協力の下に準備を整える。特に，本人ががんの当事者，がん患者であった，家族にがん患者がいる，家族をがんで亡くした，生活習慣とは関係のないがん患者が身近にいるといった個別の事情がある場合は，生徒の心理面への配慮を十分に行い，個々の事情を把握し，指導内容の概要について，本人に対して事前に説明を行う。
・保護者に対して，本個別指導の趣旨等を事前通知し，共通理解を図る。（27頁参照）
・生徒への案内を行う。

② 指導の進め方の例

・『中学校・高等学校版がん教育プログラム補助教材』にあるモジュール1～9のタイトル，学習内容，概要（28～29頁参照）の一覧表を生徒にパソコン・タブレットで示したり，印刷して渡したりした後，各々が関心を持つ内容のモジュールのスライドをみて，わからないところや疑問に思うところを挙げる。
・指導者は，課題に取り組む生徒の様子を観察し，作業の進め方について必要に応じて助言したり，生徒からの質問に回答したりする。
・なお，外部講師による集団指導の後，生徒の興味・関心に沿い個別指導をする場合もありうる。

③ 指導の展開

学習活動	指導上の留意点
1．学習のねらいと進め方を知る。	○今回の指導のねらいを説明した上で『中学校・高等学校版がん教育プログラム補助教材』にあるモジュール1～9のタイトル，学習内容，概要（後載）の一覧表を生徒にタブレットで示したり，印刷したりして渡し，進め方を説明する。
以下の2～5の活動は，文部科学省『中学校・高等学校版がん教育プログラム補助教材』の内容に沿った個別学習とする。	
2．各々が今回学習する内容のモジュールを決定する。	○各モジュールのタイトル，学習内容，概要から，最も関心を持ったものを1～2選ぶ。
3．選んだモジュールにあるスライドをそれぞれ見て，わからないところや疑問に思うところを書き出す。	○わからないところや疑問に思うところをできるだけキーワードで書き出すとよい。
4．わからないところや疑問に思うところについて各々パソコン・タブレットを用い調べる。	○指導者は生徒を観察しながら，わからないところや疑問に思うところを調べる手立てをアドバイスする。 ○小集団を対象としている場合には，グループ内で助け合いながら調べる。
5．今回学んだことを振り返る。	
6．フォローアップの指導	○本人ががんの当事者，がん患者であった，家族にがん患者がいる，家族をがんで亡くした，生活習慣とは関係のないがん患者が身近にいるなどにより，不安が払拭できない生徒に対しては，不安や喪失感は私たちにとって自然なことであること，それらは時間的な経過とともに変化があること，そしてそれらは乗り越えることができるものであること，その際に，精神的な面と身体的な面に気を配りながら行動することが大切であることなどを助言する。

動画研修の感想及び質問について

アンケートのご協力をお願いします。

https://logoform.jp/form/WEVN/1109689